

# らくら ガイドブック

ダウンロードいただき、ありがとうございます！



01

AWSを学ぶ理由

02

とらくらで学ぶメリット

03

コース紹介  
「インフラ構築コース」

カリキュラム／特徴／こんな人におすすめ

04

コース紹介  
「WordPress環境構築コース」

カリキュラム／特徴／こんな人におすすめ

05

説明会のご案内

06

運営会社について

## 01 AWSを学ぶ理由

あなたが  
AWSを勉強したいと思う  
理由は何ですか？



## 01 AWSを学ぶ理由

転職で  
年収を上げたい

仕事で  
必要があるから

AWS活用方法を学んで  
フルリモートで  
働けるようになりたい

など、理由は人によって色々だと思います

AWSには多くの機能あり、独学で学ぶには時間がかかります

効率よく学ぶには、  
スクールでプロから学ぶのが一番の近道です

# 01 AWSを学ぶ理由



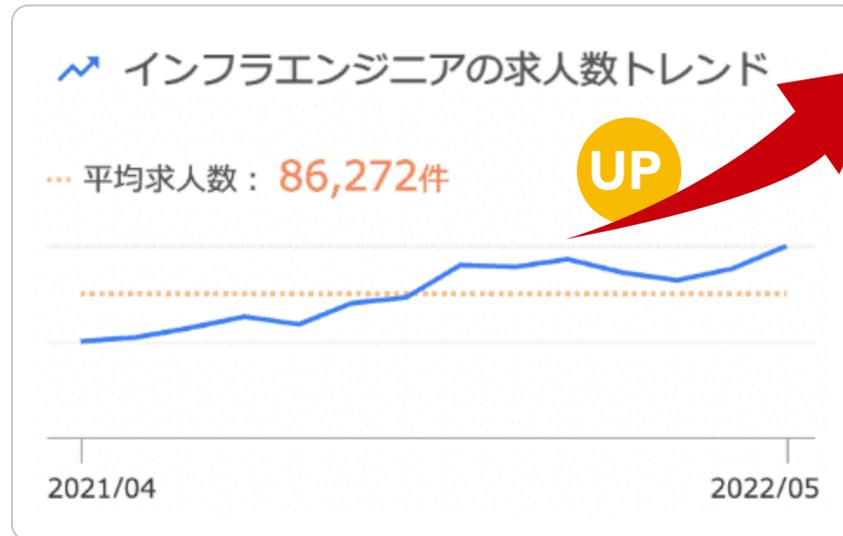
出典：求人ボックス  
・インフラエンジニアの仕事：<https://xn--pckua2a7gp15o89zb.com/%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%83%95%E3%83%A9%E3%82%A8%E3%83%B3%E3%82%B8%E3%83%8B%E3%82%A2%E3%81%AE%E4%BB%95%E4%BA%8B>  
・AWSエンジニアの仕事：<https://xn--pckua2a7gp15o89zb.com/AWS%E3%82%A8%E3%83%B3%E3%82%B8%E3%83%8B%E3%82%A2%E3%81%AE%E4%BB%95%E4%BA%8B>

平均年収は、インフラエンジニアよりAWSエンジニアの方が

約**77**万円高いというデータがあります

**AWSを身につけることで、年収UPを目指せます**

# 01 AWSを学ぶ理由



出典: 求人ボックス  
<https://xn--pckua2a7gp15o89zb.com/%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%83%95%E3%83%A9%E3%82%A8%E3%83%B3%E3%82%B8%E3%83%8B%E3%82%A2%E3%81%AE%E4%BB%95%E4%BA%8B>



また、インフラ(IT)の需要は年々伸びています  
AWSの勉強をすることで、  
時代のニーズに合わせた仕事ができます

# 01 AWSを学ぶ理由

## オンプレとクラウドの比較

### オンプレエンジニア

#### 働き方

- サーバやネットワーク機器など物理的な環境が必要のため、出社頻度が高い…
- 更新作業が深夜帯の場合もあるので、徹夜で作業することがある…
- そのため勤務時間が長い…

#### 年収

- 平均：400万円



### クラウドエンジニア

#### 働き方

- ネットに繋がりさえすれば、時間や場所の縛りなくどこでも働ける！
- 在宅の案件が多いので、子育てや介護と両立しても働ける！！
- 最新の技術に触れられる！！

#### 年収

- 平均：550万円



AWSを身につけて

場所や時間にとらわれず、働き方をもっと自由に！



02 たくさんあります

とらくらで学ぶメリット

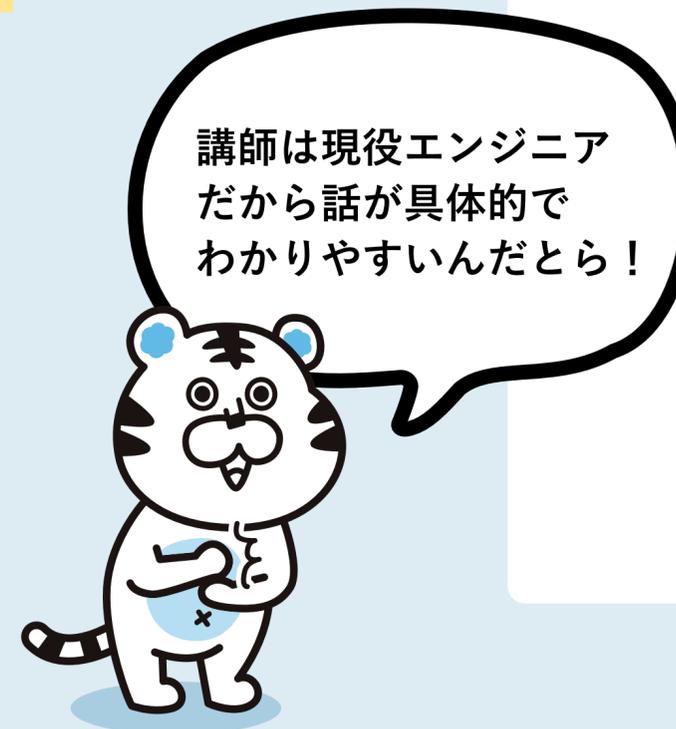
---

## 02 とらくらで学ぶメリット 1

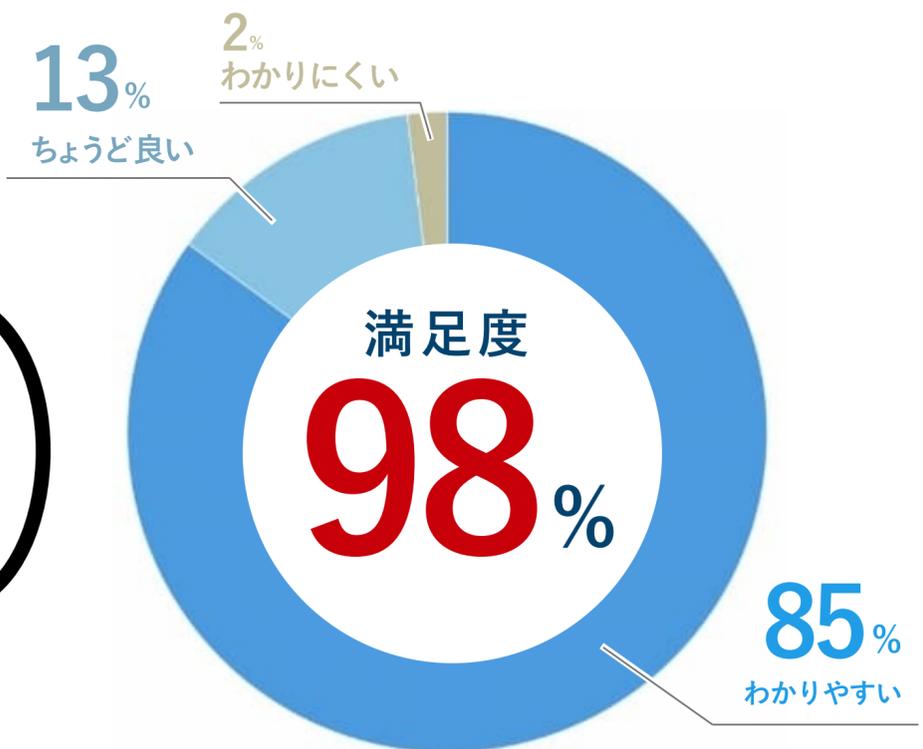
AWSを熟知した

# 現役エンジニアから学べる

「とらくら」の講師は、**第一線で活躍する現役のインフラエンジニア**です。  
豊富な経験をもとに、テキストを自ら作成しています。  
講義中に業界の小話が聞けちゃうことも。



受講生100人に聞きました！  
講師の説明のわかりやすさ



## 02 とらくらで学ぶメリット 2

受講中はもちろん、受講終了後も

# 講師への質問が回数無制限

講師への質問は、受講中はもちろん、**受講終了後も回数無制限**です。

授業内で学べるだけでなく、現場で直面する課題が数多く存在するのがIT業界の特徴だから、卒業後も徹底したサポートをお約束します！

AWSのこと、インフラのことや仕事のことなど、疑問・質問・気になる事が浮かんだら、**なんでも気軽に相談してください。**経験豊富な現役エンジニアの講師がお答えします！

(※質問の内容によっては、回答まで数日程度かかる場合があります)



困ったらすぐに  
聞ける人がいることが  
何より安心だとらね。

## 02 とらくらで学ぶメリット 3

曜日や時間、場所の指定はありません

# 受講したい時に受講できます



**POINT 1** あなたのスケジュールに合わせて受講できます！

講義は講師とのマンツーマンだから、あなたの予定に合わせて、好きな時間に受講できます！（※事前予約制）

**POINT 2** 最短1ヶ月！  
短期の習得も可能！！

全16回の講座は、最短1ヶ月で終了できます。お仕事の合間に集中的に習得することも可能です！（※予約制限あり）

**POINT 3** キャンセルや振り替えも自由にできます！

急なスケジュールの変更でも大丈夫！事務局までご連絡いただければ、当日のキャンセル、振り替えも可能です！

## 02 とらくらで学ぶメリット 4

受講生からいただいた感想です  
講師の教え方の丁寧さや、内容のわかりやすさが評判です



(サーバー知識の最低限の知識は必要だが)現場経験豊富なプロからAWSについて教えてもらえるため。



今までネットワーク知識を座学で学んできましたが、PCを使用しドメイン作成やDNSの紐付けの部分など実際に体験出来たので良かったです。



質問にも丁寧に答えておりとても良いと思った。勉強になりました。

受講生してくれた人の声とら。



AWSを実際に使ってみたい人にとって、有意義な講義であると感じたから。



AWSの機能がどういうもので、何故必要なのかあるいは何ができるのかの説明があったのがよかった。



## 03 コース紹介

# 「インフラ構築コース」

カリキュラム／特徴／こんな人におすすめ

オンプレ経験者に  
おすすめのコース、  
「インフラ構築コース」  
をご紹介しますとら！



## 03 コース紹介 「インフラ構築コース」 - カリキュラム 1

### 第01回 AWSの構成

初めて学ぶAWSというサービスの全容を把握しやすく説明します。

アカウントの概念、ネットワークの構成、コストが発生する場合としない場合、AWSを運用していく際にどのようにコストを削減するかについて解説していきます。

### 第02回 AWSの料金とライセンス

AWS上でOSやミドルウェアなどの有料ライセンス製品を取り扱う場合を含め、EC2を中心とした料金についてを説明します。

例えばWindowsOSやオンプレミスの場合には必要となるCAL(クライアントアクセスライセンス)の取り扱いが、クラウドではどのように変わるかなど、実際の製品について具体的な例を挙げながら解説します。

### 第03回 オンプレミスとAWS

オンプレミスとAWSとの様々な違いを対応するサービスの対比で説明します。

ルーターやファイヤーウォールなどのネットワークとVPC、ベアメタル・VMなどの仮想サーバとEC2、ローカルのSSD・HDDやNASなどと各種ストレージの差、冗長構成する場合のそれぞれの手間や予算感などについて解説します。

### 第04回 アカウントとIAMの作成

AWSアカウントについての説明と、実際に演習で使用する管理者IAMを作成していきます。

作成したIAMアカウントによるログインと、セキュリティ向上として、MFA(スマホアプリによる認証)の設定を追加してセキュアなアカウントの運用について解説します。

## 03 コース紹介 「インフラ構築コース」 - カリキュラム 2

### 第05回 VPCとSubnetとSecurityGroup

クラウドのネットワークの説明と実習です。  
VPCと呼ばれるAWSのクラウドネットワークを作成し、インターネットへ接続、各リソースを配置するサブネットを作成します。続いてFW(ファイヤーウォール)に相当するセキュリティグループについての詳細の解説と実際に作成していきます。

### 第06回 EC2の作成

AWSのコンピューティングサービスの中でも中核サービスにあたる仮想サーバのサービスであるEC2について集中して解説します。  
EC2の概要から各種スペック、ストレージやネットワーク、OSはどのように扱うか等の詳細を説明した上で、実際にWindowsServerの仮想サーバを構築し、接続してみます。

### 第07回 IISの設定と公開

実際にAWS上に構築したサーバを利用し、役割を与えていきます。Windowsサーバー環境でよく使われるWebサーバーソフトウェアであるIISを利用していきます。  
IISを設定し、簡単なHTMLファイルを作成して実際にインターネットにホームページを公開し、実際にご自身のPCやスマホで表示してみます。

### 第08回 EC2の基本操作と復元

AWSの中核サービスであるEC2のインスタンスについて基本操作を実習します。  
その他に、運用上絶対に必要となる自動バックアップの設定や、万が一の場合に備えてバックアップデータからの復元も実習します。

## 03 コース紹介 「インフラ構築コース」 - カリキュラム 3

### 第09回 Route53の設定

AWSのDNSサービスであるRoute53を実際にインターネット上で利用できるドメインを取得して実習します。  
ドメインの基本的な知識や基本動作についての説明の後、実際にレジストラでドメインを取得し、そのドメインをRoute53でホストして、サーバにホスト名を割り当て、作成したWebサーバーを独自ドメインで公開するところまでを実習を通して理解します。

### 第10回 VPN接続とADとDHCP

オンプレミス拠点とのVPN接続を介してデータセンターとしてAWSを利用する方法も企業の利用法としてとてもポピュラーなので、その方法の解説をします。  
続いてAWS内にActiveDirectoryを構築する際のポイントと、メンバーサーバなどを配置する際にはDNSサーバーとして参照させる事が必須となりますので、DHCPの設定方法を解説します。

### 第11回 ファイルサーバ

AWSにはストレージ系サービスも数多くあります。その概要を説明し、その後にEC2でファイルサーバーを構築していきます。あらかじめ構築したドメインのメンバーサーバーとして動作し、ドメイン認証が有効であることを確認します。

### 第12回 S3とCLIの活用

AWSに数多くあるストレージ系サービスの中でも最古参で超多機能であるS3、そのS3には様々な使い方がありますが、最も基本であるオブジェクトストレージとしての利用を実習します。EC2インスタンスからアクセスするためにCLI(コマンドラインインターフェース)をインストールし、コマンドでファイルの入出力を自習します。

## 03 コース紹介 「インフラ構築コース」 - カリキュラム 4

### 第13回 ACMとELB

AWSをはじめとしたクラウドサービスを利用する目的としてとても多いのが、冗長性とスケラブルだと思います。その2つを備えたシステムを構築する際に必要となってくるLB(ロードバランサー)。AWSのLBはSSLアクセラレーター機能も追加料金なしで利用できるという点も特徴になっており、その構築もコツを掴めば難しいものではありません。自習でマスターしていきます。

### 第14回 運用に必要な各種設定

クラウドサービスに対して安全性はとてよく話題になります。企業として安全に運用していくことは第一の命題となるはずですが、AWSはどのように安全性を担保し、運用に備えていくかを、AWSを利用するなら必ず必要な設定として5つに絞って実習していきます。

### 第15回 トラブルシューティング

どんなに安全なシステムでもトラブルが絶対に起きないシステムというものは存在しないといえるでしょう。AWSでも同様に想定外の事象が発生したり、あるいは攻撃を受けることもあるかもしれません。そのような場合に備えてどのような仕組みがあり、それをどのように用いて未然に防いで発見したり、事後のトラブルシューティングに活用したりする方法を実習で学んでいきます。

### 第16回 その他のAWSサービス

AWSのサービスは年々拡張されていって、今や200を優に超えるサービス群となっています。今後エンジニアとして活躍していく際には今まで触れたことがない新しいサービスに触れる必要や、お客様に求められて提案し、構築する必要が出てくることもあるでしょう。そのような際にどのようにして新しいサービスを理解し慣れていくかを課題として実習していきます。

## 03 コース紹介「インフラ構築コース」 - 特徴

### 💡 とらくらならではの！のポイント

- 情報システム部でIT管理をされてきた方や、SESで監視やオペレーションなどをされてきた方にもわかりやすい内容を題材にしています
- 受講完了後、自社でAWSでのサーバ運用を実現できる実践的な内容を、受講生のレベルに合わせて進めて行きます
- 資格取得を目指す方には出題傾向によるポイントも解説したり、実務に使いたい方には、その業務にあった内容を脱線して解説することもあります



## 03 コース紹介 「インフラ構築コース」 - こんな人におすすめ

### 対 象

- **企業の情報システム部門**  
(業務システムなどの担当者)
- **Windowsサーバーの管理者**  
(オンプレミスサーバの管理、構築、運用者など)

### あるとなおよい知識と技術レベル

- Windowsコマンドラインでのコマンド操作、SSH接続とLinuxコマンド操作の経験
- SSLサーバー証明書の知識

### 必要な知識と技術レベル

- **サーバやOS、通信の基本的な知識**  
(TCP/IP、DNS、Webサーバの基本的な仕組みなど)
- **WindowsServerを扱った経験**もしくは  
**これからWindowsServerを扱う業務に従事**



## 04 コース紹介

# 「WordPress環境構築コース」

カリキュラム／特徴／こんな人におすすめ

Web制作経験者に  
おすすめのコース、  
「WordPress環境構築コース」  
をご紹介しますら！



## 04 コース紹介 「WordPress環境構築コース」 - カリキュラム 1

### 第01回 AWSの構成

初めて学ぶAWSというサービスの全容を把握しやすく説明します。

アカウントの概念、ネットワークの構成、コストが発生する場合としない場合、AWSを運用していく際にどのようにコストを削減するかについて解説していきます。

### 第02回 AWSのコスト削減

AWSのEC2を中心とした料金に着目し、どのようにコスト削減を実現できるかを説明します。例えば有料のライセンス製品のコスト削減方法、AWSの機能を利用したコスト削減方法、ストレージサービスもアプリケーションに合ったストレージタイプを選択することによるコスト削減など、実際の製品・サービスについて具体的な例を挙げながら解説します。

### 第03回 アカウントとIAMの作成

AWSアカウントについての説明と、実際に演習で使用する管理者IAMを作成していきます。

作成したIAMアカウントによるログインと、セキュリティ向上として、MFA(スマホアプリによる認証)の設定を追加してセキュアなアカウントの運用について解説します。

### 第04回 VPCとSubnetとSecurityGroup

クラウドのネットワークの説明と実習です。VPCと呼ばれるAWSのクラウドネットワークを作成し、インターネットへ接続、各リソースを配置するサブネットを作成します。続いてFW(ファイヤーウォール)に相当するセキュリティグループについての詳細の解説と実際に作成していきます。

## 04 コース紹介「WordPress環境構築コース」 - カリキュラム 2

### 第05回 EC2の作成

AWSのコンピューティングサービスの中でも中核サービスにあたる仮想サーバのサービスであるEC2について集中して解説します。

EC2の概要から各種スペック、ストレージやネットワーク、OSはどのように扱うか等の詳細を説明した上で、実際にLinuxの仮想サーバを構築し、接続してみます。

### 第06回 LAMP環境の構築

Webサービスでは標準的に用いられるLAMP環境とはLinux/Apache/MySQL(MariaDB)/PHPの頭文字をとったものです。AWS上での構築方法を基本的なコマンドを利用してインストールしながら解説していきます。また、AWS上の固定IPにあたるElasticIPも取得し、インスタンスにアタッチすることによって構築したサーバを固定IPアドレスでインターネットに公開します。

### 第07回 WordPressのインストール準備

WordPressを動作させるために必要となるLAMP環境を整える最後の設定です。

MariaDBというデータベースソフトの初期設定、PHPMyAdminというデータベース操作の簡易的なソフトウェアをセットアップ、Apacheの詳細な設定も行い、最後にFTPサーバもインストールしていきます。

### 第08回 WordPressのインストール

WordPressをインストールし、初期設定を行い、記事を書ける状態まで進めます。

インストール後に初めに接続すると、その環境においていくつかの設定がされてしまうため、念のためその直前にバックアップも取得します。

## 04 コース紹介 「WordPress環境構築コース」 - カリキュラム 3

### 第09回 EC2の基本操作と復元

AWSの中核サービスであるEC2のインスタンスについて基本操作を実習します。

その他に、運用上絶対に必要となる自動バックアップの設定や、万が一の場合に備えてバックアップデータからの復元も実習します。

### 第10回 Route53の設定

AWSのDNSサービスであるRoute53を実際にインターネット上で利用できるドメインを取得して実習します。

ドメインの基本的な知識や基本動作についての説明の後、実際にレジストラでドメインを取得し、そのドメインをRoute53でホストして、サーバにホスト名を割り当て、作成したWebサーバを独自ドメインで公開するところまでを実習を通して理解します。

### 第11回 S3静的ウェブホスティングとSSL

AWSに数多くあるストレージ系サービスの中でも最古参で超多機能であるS3、そのS3には様々な使い方がありますが、インターネットに公開できる静的Webホスティングの利用を実習します。

また、現在のWebでは必須となっているSSLについても解説します。

### 第12回 CloudFrontによる独自ドメインのSSL化

AWSのコンテンツ配信サービスであるCloudFrontは世界中の名だたる企業でも頻繁に使われています。アクセスが集中するとWebサーバの応答が遅くなる事象が発生してしまいましたが、それを防ぐ機能を持っているCloudFrontですが、それだけではなく様々な機能を併せ持っています。その一つがSSLアクセラレーターとしての動作です。ACM(Amazon Certificate Manager)のSSLサーバ証明書と連携することで、独自ドメインのSSL化を実現します。

## 04 コース紹介 「WordPress環境構築コース」 - カリキュラム 4

### 第13回 ACMとELB

AWSをはじめとしたクラウドサービスを利用する目的としてとても多いのが、冗長性とスケーラブルだと思います。その2つを備えたシステムを構築する際に必要となってくるLB(ロードバランサー)。AWSのLBはSSLアクセラレーター機能も追加料金なしで利用できるという点も特徴になっており、その構築もコツを掴めば難しいものではありません。自習でマスターしていきます。

### 第14回 運用に必要な各種設定

クラウドサービスに対して安全性はとてもよく話題になります。企業として安全に運用していくことは第一の命題となるはずですが、AWSはどのように案前世を担保し、運用に備えていくかを、AWSを利用するなら必ず必要な設定として5つに絞って実習していきます。

### 第15回 トラブルシューティング

どんなに安全なシステムでもトラブルが絶対に起きないシステムというものは存在しないといえるでしょう。AWSでも同様に想定外の事象が発生したり、あるいは攻撃を受けることもあるかもしれません。そのような場合に備えて、どのような仕組みがあり、それをどのように用いて未然に防いで発見したり、事後のトラブルシューティングに活用したりする方法を実習で学んでいきます。

### 第16回 その他のAWSサービス

AWSのサービスは年々拡張されていって、今や200を優に超えるサービス群となっています。今後エンジニアとして活躍していく際には今まで触れたことがない新しいサービスに触れる必要や、お客様に求められて提案し、構築する必要が出てくることもあるでしょう。そのような際にどのようにして新しいサービスを理解し慣れていくかを課題として実習していきます。

## 04 コース紹介 「WordPress環境構築コース」 - 特徴

### 💡 とらくらならではの！のポイント

- Webデザイナーやエンジニアがスムーズに入っていける実習内容として、広く普及しているWordPressを題材にチョイスしています
- 現時点でWebサーバーについての知識が浅い方でも挫折しないよう、受講生のレベルに合わせた進め方をしていきます
- 資格取得を目指す方には出題傾向によるポイントも解説したり、実務に使いたい方には、その業務にあった内容を脱線して解説することもあります



## 04 コース紹介 「WordPress環境構築コース」 - こんな人におすすめ

### 対象

- **Web制作にかかわっている方**  
(コーダー、デザイナー、ディレクターなど)
- **Webサーバーの管理者**  
(オンプレミス、レンタルサーバの管理、構築、運用者など)

### 必要な知識と技術レベル

- **Web制作の基本的な知識**  
(DNS、Webサーバの基本的な仕組み、ページの作成、FTP転送など)
- **WordPressを扱った経験**もしくは  
**これからWordPressを扱う業務に従事**

### あるとなおよい知識と技術レベル

- **SSH接続とLinuxコマンド操作の経験**
- **SSLサーバー証明書の知識**



## 05 説明会のご案内

# とらくらでは 個別の無料説明会をオンラインで開催しています！

講座の内容や料金、受講のメリット・デメリットについてはもちろん、  
業界に精通しているからこそできるエンジニアのキャリアプランや  
業界の情勢などを、ざっくばらんにお話しします。

些細なことでも、お気軽にご相談ください。

随時受付中

サイトの「無料説明会お申込みフォーム」よりお申込みください

＼とらくらサイト「お申込みフォーム」のURLはこちら／

<https://tracl.cloud/infosession>

ここから  
申し込むとらよ。



## 06 運営会社について



### 株式会社テクニカルエージェント 東京オフィス

---

Email [tracl@technical-agent.jp](mailto:tracl@technical-agent.jp)

Tel 05068753537

Address 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツビルディング2F

ありがとうございました  
お申込みお待ちしております！

 無料説明会お申込みフォーム

<https://tracl.cloud/infosession>

